

糖尿病の我が国における患者数は、2017 年の時点で 1,000 万人で予備軍を入れると 2,000 万人とも言われております。今や国民病の感となりました糖尿病の恐ろしさは、糖尿病性合併症が患者に与える苦痛あるいは生命の短縮にあるといえます。この増加の一途を辿る糖尿病に加えて、最近の問題として新型コロナウイルスが糖尿病、肥満、高血圧などの危険因子なことが挙げられています。これらに、いかに対処するか、医師をはじめとした医療チームに課せられた責任は大きいものです。恐るべき本症への対応には、単に糖尿病専門家に任せるだけではなく、進歩の著しい知識を医療一般に関与する全ての人々が理解し治療の術を身に付けることが何よりも重要ではないかと考えます。

糖尿病 Up・Date 賢島セミナーを、38 年間にわたって賢島（伊勢志摩国立公園）で開催致しましたところ、医療に携わる様々な分野から多数の方々に参加していただき、「最新の情報が分かりやすい解説で、日常に役立つ」と大好評を博し、今後も当セミナーを引き続いて定期的開催する運びとなりました。

新しいシリーズのテーマは、第 37 回より“糖尿病へのハイブリッド化した対応”とし、世話人一同糖尿病に関する知識が幅広い人々に普及するよう努めたいと念じております。世界的に糖尿病人口が増え続ける昨今、高齢者並びに勤労者の世代の対応が大きな問題となっています。しかし、第 37 回、38 回となる昨今のセミナーは、新型コロナウイルスの影響で開催が中止となりました。従って、第 39 回となる本年は“ハイブリッド化した糖尿病治療薬への期待—良好な血糖コントロールと beyond glucose control—”というタイトルで下記のように開催することになりました。糖尿病に興味をお持ちの方に多数参加していただけますよう、ここに御案内申し上げます。

代表世話人 堀田 饒

記

テ ー マ	“ハイブリッド化した糖尿病治療薬への期待 —良好な血糖コントロールと beyond glucose control—”
日 時	令和 4 年 8 月 27 日（土）、28 日（日）
会 場	志摩観光ホテルクラシック 〒517-0502 三重県志摩市阿児町神明 731
セミナー記録	セミナーの記録は一冊の本にまとめられ出版されます。
セミナー参加費	50,000 円。proceedings 代を含みます。（※宿泊費は含まれておりません。） また、8 月 27 日の懇親会をかねた夕食、及び 8 月 28 日の昼食を事務局にて ご用意させていただきます。
参加申し込み	参加申込用紙にご記入いただき FAX にてお申し込み下さい。 （参加人数は 50 名にて締切らせて頂きます。）
宿泊申し込み	株式会社 阪急阪神ビジネストラベル 糖尿病 Up・Date セミナー係 〒530-0001 大阪市北区梅田 2-5-25 ハービス OSAKA 9 階 担当者直通：(090) 2574-8495 会社 TEL：(06) 4795-5777 FAX 番号：(06) 4795-5770 TEL または同封の FAX 用紙にてお申し込み下さい。 （満室になり次第締め切らせて頂きます。）
世 話 人	堀田 饒（中部労災病院） 清野 裕（関西電力病院） 門脇 孝（虎の門病院） 羽田 勝計（医療法人 共創会） 中村 二郎（愛知医科大学）
後 援	日本糖尿病学会・日本医師会・愛知県医師会・岐阜県医師会・三重県医師会
事 務 局	中部労災病院 堀田 饒 〒455-8530 名古屋市港区港明 1-10-6 TEL：052-652-5511（内線 7174） FAX：052-652-5623

第39回 糖尿病 Up・Date 賢島セミナー プログラム  
“ハイブリッド化した糖尿病治療薬への期待”  
—良好な血糖コントロールと beyond glucose control—

第1日目 (8月27日)

14:00~14:10 開会の辞

14:10~16:30 セミナーⅠ：糖尿病への対応のアップ・デート

—血糖コントロールは如何にあるべきか—

司会：南條 輝志男 (和歌山ろうさい病院)

14:10~14:40

講演：病状・病態に応じた血糖コントロールの目標と指標  
谷澤 幸生 (山口大学)

14:40~14:50

発言：1. 食事療法からみた糖尿病管理のアップ・デート  
矢部 大介 (岐阜大学)

14:50~15:00

2. 運動療法からみた糖尿病管理のアップ・デート  
田村 好史 (順天堂大学)

15:00~15:10

3. インスリン治療からみた糖尿病管理のアップ・デート  
中島 英太郎 (中部ろうさい病院)

15:10~15:20

Coffee Break

15:20~16:30

総合討論

16:30~17:00

症例検討のセミナー：困った症例

司会：堀田 饒 (中部ろうさい病院)

症例呈示：清瀬 俊樹 (愛知医科大学)

コメンテーター：稲垣 暢也 (京都大学)

：中村 二郎 (愛知医科大学)

17:00~17:20

休憩

17:20~19:20

会食・懇親会

司会：堀田 饒 (中部ろうさい病院)

ディナースピーチ：

<The voyage of a Biochemist—糖尿病へ，糖尿病と，糖尿病から>  
山本 博 (公立小松大学)

19:20~19:40

休憩

19:40~22:00

セミナーⅡ：薬物療法からみた糖尿病の管理・治療のアップ・デート

—血糖コントロールは如何にあるべきか—

司会：清野 裕 (関西電力病院)

19:40~20:10

講演：大規模臨床試験からみた糖尿病の管理・治療の展望  
門脇 孝 (虎の門病院)

20:10~20:20

発言：1. Weekly DPP-4 阻害薬並びに GLP-1 受容体作動薬の  
効果的な活用—成果と問題点—  
稲垣 暢也 (京都大学)

20 : 20～20 : 30	2. SGLT2 阻害薬の効果的な活用—成果と問題点— 荒木 栄一 (熊本大学)
20 : 30～20 : 40	3. 経口血糖降下薬にみられる配合剤の効果的な活用 —成果と問題点— 小川 渉 (神戸大学)
20 : 40～20 : 50	Coffee Break
20 : 50～22 : 00	総合討論
22 : 00～22 : 10	休憩
22 : 10～23 : 40	懇親会

第2日目 (8月28日)

8 : 20～ 8 : 50	トピックス：糖尿病診療ガイドライン2019—主な改定点とその意義— 司会：羽田 勝計 (医療法人 共創会) 講演：荒木 栄一 (熊本大学)
8 : 50～11 : 10	セミナーⅢ：糖尿病にみられる合併症と併発症への対応のアップデート —血糖コントロールは如何にあるべきか— 司会：中村 二郎 (愛知医科大学) 講演：糖尿病合併症・併発症と血糖コントロール 植木 浩二郎 (国立国際医療研究センター研究所)
8 : 50～ 9 : 20	講演：糖尿病合併症・併発症と血糖コントロール 植木 浩二郎 (国立国際医療研究センター研究所)
9 : 20～ 9 : 30	発言：1. 糖尿病性腎症への対応 —Beyond glucose control— 古家 大祐 (淡海医療センター)
9 : 30～ 9 : 40	2. 糖尿病性神経障害への対応 —Beyond glucose control— 神谷 英紀 (愛知医科大学)
9 : 40～ 9 : 50	3. 糖尿病に併発した脂質異常への対応 —Beyond glucose control— 横手 幸太郎 (千葉大学)
9 : 50～10 : 00	Coffee Break
10 : 00～11 : 00	総合討論
11 : 10～11 : 50	鼎談：糖尿病治療薬に関する Recommendation と偏見に対する アドボカシーへの取り組み 清野 裕 (関西電力病院) 門脇 孝 (虎の門病院) 植木 浩二郎 (国立国際医療研究センター研究所)
11 : 50～12 : 00	閉会の辞
12 : 00～13 : 00	昼食

日本医師会生涯教育講座 7.5 単位

■カリキュラムコード

- |            |                  |
|------------|------------------|
| 7. 医療の質と安全 | 73. 慢性疾患・複合疾患の管理 |
| 9. 医療情報    | 76. 糖尿病          |
| 10. チーム医療  |                  |

「第39回糖尿病 Up・Date 賢島セミナー」  
参加申込用紙

FAX: 052-652-5623

フリガナ	
お名前	
職種	<input type="checkbox"/> 医師 → <input type="checkbox"/> 所属医師会名 ( ) 医師会 ※三重県内の方は市町名、県外の方は県名をご記入下さい。 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> その他 ( )
医籍番号	
御所属	
御住所	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務地 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 〒 ..... ..... ..... TEL : ..... FAX : ..... Email: .....

問い合わせ先：糖尿病 Up・Date 賢島セミナー 中部ろうさい病院内

TEL：052-652-5511（代）（内線7174）

FAX：052-652-5623

※本 FAX は特定の宛先に送信されたものです。お心当たりのない方は誠にお手数ですが、送信者に御連絡いただき、本 FAX を破棄くださいますようお願い申し上げます。

